

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.24

| | |
|-----|--------------|
| 日時 | 2013年7月27日 |
| 行脚先 | 岩倉城 |
| 住所 | 徳島県美馬市 (阿波国) |
| 行事名 | |

特徴

築城年は不明ですが、一説によると文永4年(1267年)に阿波国守護小笠原長房が居城していたことから鎌倉時代に築城されたと言われています。
戦国時代に入ると三好康長の子である三好康俊が城主となり、脇城と連携してこの地方一帯を支配しました。
天正10年(1582年)、阿波を攻略した長宗我部氏は脇城を攻略して岩倉城にも攻め寄せ、岩倉城は長宗我部氏の手の物となります。その際、三好康俊は降伏開城して逃れたとも討死したとも言われています。
その後、四国攻めで再び豊臣秀吉・黒田官兵衛等によって攻められ落城します。
蜂須賀家政が阿波国に入国した後は、脇城が阿波九城となった為廃城となりました。

黒田官兵衛との関わり

岩倉城攻めで城攻めの方法を豊臣秀次に尋ねられた官兵衛は、長宗我部掃部助が守る岩倉城は地形が急峻で、力攻めは困難と判断しました。
そこで、材木を集めて城中の櫓より高い井楼を組み上げ、この上に大砲を据えて城中に砲撃させました。また4万余の大軍に、1日に3回関の声をあげさせて敵を威嚇するよう進言しました。
その凄まじい音響に取り囲まれると岩倉城兵の戦意も低下したため、官兵衛は頃合いを見て和議を申し入れました。
長宗我部掃部助は遂に戦いを諦め降伏し、兵を引き連れて土佐に帰りました。これを見ていた阿波・讃岐の諸城も、戦わずして次々に降参したそうです。

記録

